

令和 7 年 版

火 災 ・ 救 急 ・ 救 助 ・ 通 信 統 計



筑紫野太宰府消防組合消防本部

火災・救急・救助・通信統計

令和 7 年版

この統計は、令和 7 年中の筑紫野市・太宰府市の火災・救急・救助・通信について集計したものです。消防防災関係はもとより、広くあらゆる方面でご活用いただければ幸いです。

なお、この統計中「年」とあるのは、歴年（1 月～12 月）を表しています。

令和 8 年 8 月

筑紫野太宰府消防組合消防本部

目 次

火災統計

1. 火災の現況	1
2. 過去３年間の火災概要	2
3. 両市における火災概要	3
4. 月・曜日別火災発生概況	4
5. 出火原因別火災発生概況	6

救急統計

1. 救急業務の現況	8
2. 救急概要	9
3. 月別救急活動状況	10
4. 曜日別救急活動状況	10
5. 時間別出動状況	11
6. 時間別搬送人員状況	11
7. 事故種別医療機関別搬送人員状況	12
8. 救急隊員の行った応急処置	13
9. 市民による心肺蘇生実施状況	13
10. 講習種別受講者数内訳	14
11. 受講団体対象別受講者数内訳	14

救助統計

1. 救助業務の現況	15
2. 事故種別救助活動状況	16
3. 事故種別・発生場所別出動状況	16
4. 事故種別・発生場所別救助活動状況	17
5. 事故種別・出動人員・活動人員状況	17

通信統計

1. 通信業務の現況	18
2. 管内における１１９番通報受信件数の推移	19
3. 電話別の１１９番通報受信件数	19



火災統計



1. 火災の現況

令和7年中における当消防本部管内の火災発生件数は30件で、これらの火災による火災損害額は69,220千円となっており、焼損棟数21棟、焼損面積660㎡（焼損表面積含む）となっています。また、り災世帯は11世帯、り災人員は22人となっており、死者0名、負傷者4人が発生しています。

(1) 出火件数

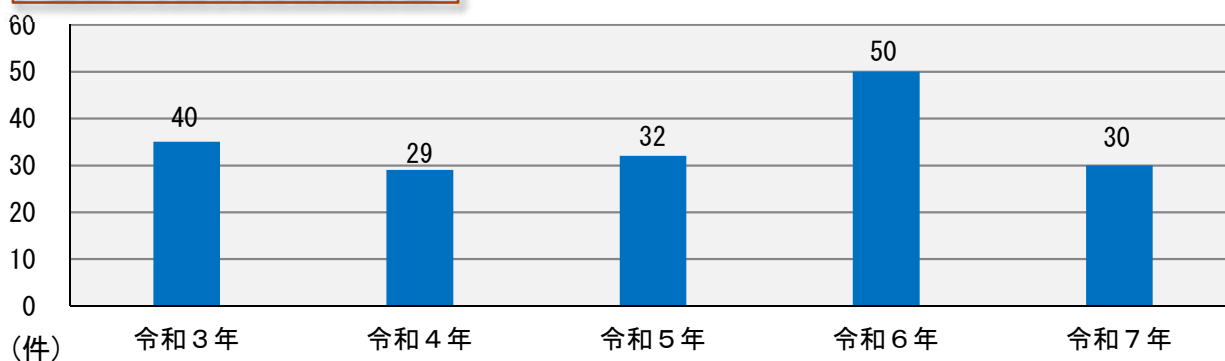
令和7年中の両市の出火件数は、筑紫野市20件、太宰府市10件となっています。火災種別毎の比較では、建物火災19件（63%）、林野火災1件（3%）、車両火災5件（17%）、その他の火災5件（17%）となっています。

(2) 損害額

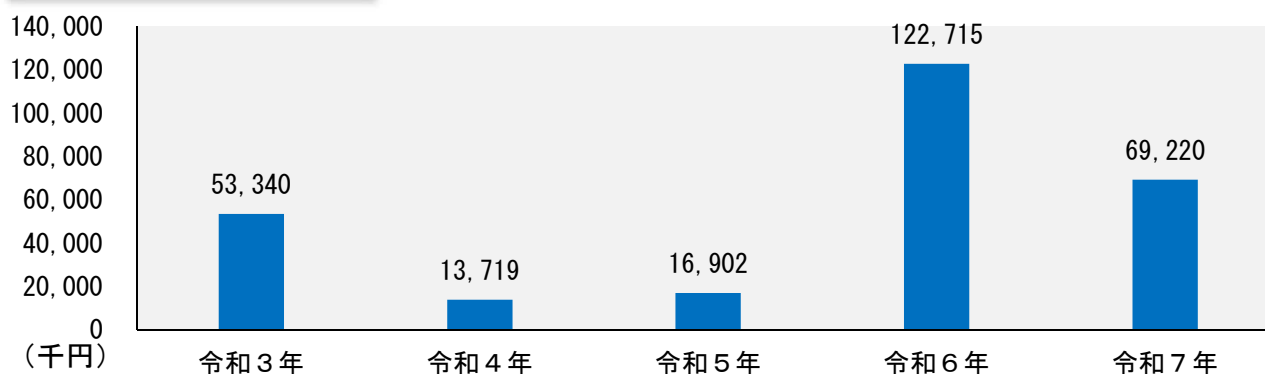
焼損棟数別に分類すると、全焼5棟、半焼1棟、部分焼3棟、ぼや12棟となっています。

建物火災の損害額は68,003千円、車両火災の損害額は834千円、その他の火災の損害額は383千円となっています。

過去5年間の火災発生件数



過去5年間の損害額



令和7年の火災調査体制

目的

火災の原因及び損害等を明らかにすることにより、火災予防施策及び警防対策を図る上で、より迅速かつ厳正な火災調査を目的とし、併せて職員の火災調査の能力向上を図るため、平成26年4月1日に火災調査特務班を発足しました。現在は、火災調査特務班を中心として、火災原因調査研修会や火災調査の検証を行っています。

原因究明率

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
不明件数	7件	2件	7件	6件	6件
原因究明率	80%	93%	78%	88%	80%

2. 過去3年間の火災概要

区 分 \ 年		令 和 5 年	令 和 6 年	令 和 7 年
総 件 数 (件)		32	50	30
出 火 率 (件/万人)		1.8	2.8	1.7
火 災 種 別	建 物 火 災 (件)	19	22	19
	爆 発 (件)	—	—	—
	林 野 火 災 (件)	—	—	1
	車 両 火 災 (件)	8	14	5
	その他の火災 (件)	5	14	5
	り 災 世 帯 数 (世帯)	12	15	11
り 災 人 員 (人)		33	33	22
焼 損 棟 数 (棟)		17	28	21
内 訳	全 焼 (棟)	—	5	5
	半 焼 (棟)	1	1	1
	部 分 焼 (棟)	3	10	3
	ぼ や (棟)	13	12	12
建 物 焼 損 床 面 積 (㎡)		85	642	489
建 物 焼 損 表 面 積 (㎡)		2	61	171
林 野 焼 損 面 積 (a)		—	—	6
死 者 (人)		3	1	—
負 傷 者 (人)		4	3	4

3. 両市における火災概要

(令和7年)

市 区 分		筑 紫 野 市	太 宰 府 市	合 計
総 件 数 (件)		20	10	30
火 災 種 別	建 物 火 災 (件)	13	6	19
	林 野 火 災 (件)	1	－	1
	車 両 火 災 (件)	3	2	5
	その他の火災 (件)	3	2	5
り 災 世 帯 数 (世帯)		8	3	11
り 災 人 員 (人)		15	7	22
建 物 損 害 額 (千円)		12,877	31,969	44,846
建 物 収 容 物 損 害 額 (千円)		8,331	14,826	23,157
林 野 損 害 額 (千円)		－	－	－
車 両 損 害 額 (千円)		296	538	834
爆 発 損 害 額 (千円)		－	－	－
そ の 他 損 害 額 (千円)		2	381	383
損 害 額 合 計 (千円)		21,506	47,714	69,220
焼 損 棟 数 (棟)		15	6	21
内 訳	全 焼 (棟)	3	2	5
	半 焼 (棟)	－	1	1
	部 分 焼 (棟)	1	2	3
	ぼ や (棟)	11	1	12
建 物 焼 損 床 面 積 (㎡)		129	360	489
建 物 焼 損 表 面 積 (㎡)		2	169	171
林 野 焼 失 面 積 (a)		6	－	6
死 者 (人)		－	－	－
負 傷 者 (人)		3	1	4

4. 月・曜日別火災発生概況（1）

（令和7年）

区 分 月・曜	出 火 件 数							焼 損 棟 数					焼 損 面 積			死者負傷者	
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者
合 計	30	19	1	5	-	-	5	21	5	1	3	12	489	171	-	-	4
1 月	3	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2
2 月	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	11	-	-	-
3 月	3	2	-	1	-	-	-	2	-	-	1	1	-	158	-	-	-
4 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 月	4	3	-	-	-	-	1	3	1	1	-	1	254	-	-	-	-
6 月	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-
7 月	4	1	-	1	-	-	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
8 月	2	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
9 月	2	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	119	-	-	-	-
10 月	4	2	-	2	-	-	-	3	1	-	-	2	4	-	-	-	1
11 月	2	2	-	-	-	-	-	3	2	-	1	-	112	-	-	-	1
12 月	2	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	6	-	-
不 明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	30	19	1	5	-	-	5	21	5	1	3	12	489	171	6	-	4
日 曜 日	5	3	-	1	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-	-	2
月 曜 日	3	2	-	-	-	-	1	2	-	1	-	1	175	-	-	-	-
火 曜 日	5	3	-	1	-	-	1	3	1	-	-	2	79	-	-	-	-
水 曜 日	5	4	-	1	-	-	-	4	1	-	1	2	119	12	-	-	-
木 曜 日	7	4	-	1	-	-	2	7	2	-	2	3	112	158	-	-	1
金 曜 日	3	2	-	1	-	-	-	2	1	-	-	1	4	1	-	-	1
土 曜 日	2	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	6	-	-
不 明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 月・曜日別火災発生概況（2）

（令和7年）

区 分 月・曜	り災世帯数				り 災 人 員	損 害 額（千円）							
	合 計	全損	半損	小損		合 計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
合 計	11	3	-	8	22	69,220	68,003	-	834	-	-	383	-
1 月	1	-	-	1	1	421	91	-	-	-	-	330	-
2 月	1	-	-	1	5	891	891	-	-	-	-	-	-
3 月	1	-	-	1	2	11,406	11,166	-	240	-	-	-	-
4 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 月	-	-	-	-	-	29,835	29,835	-	-	-	-	-	-
6 月	-	-	-	-	-	21	21	-	-	-	-	-	-
7 月	-	-	-	-	-	122	19	-	50	-	-	53	-
8 月	1	-	-	1	4	6	6	-	-	-	-	-	-
9 月	1	1	-	-	1	20,970	20,570	-	400	-	-	-	-
10 月	2	1	-	1	3	162	18	-	144	-	-	-	-
11 月	3	1	-	2	4	5,365	5,365	-	-	-	-	-	-
12 月	1	-	-	1	2	21	21	-	-	-	-	-	-
不 明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	11	3	-	8	22	69,220	68,003	-	834	-	-	383	-
日 曜 日	1	-	-	1	2	598	26	-	240	-	-	332	-
月 曜 日	1	-	-	1	4	21,341	21,341	-	-	-	-	-	-
火 曜 日	-	-	-	-	-	8,525	8,519	-	6	-	-	-	-
水 曜 日	2	1	-	1	6	21,877	21,477	-	400	-	-	-	-
木 曜 日	4	1	-	3	6	16,568	16,467	-	50	-	-	51	-
金 曜 日	2	1	-	1	2	247	109	-	138	-	-	-	-
土 曜 日	1	-	-	1	2	64	64	-	-	-	-	-	-
不 明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

5. 出火原因別火災発生概況(1)

(令和7年)

種 別 原 因 別	出 火 件 数							焼 損 棟 数					焼 損 面 積			死 者	負 傷 者
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)	林 野 (a)		
合 計	30	19	1	5	-	-	5	21	5	1	3	12	489	171	6	-	4
た ば こ	2	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	11	-	-	-
こ ん ろ	3	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	2
か ま ど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風 呂 か ま ど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼 却 炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ス ト ー ブ	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
こ た つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボ イ ラ ー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙 突 ・ 煙 道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排 気 管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電 気 機 器	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	158	-	-	-
電 気 装 置	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	175	-	-	-	-
内 燃 機 関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配 線 器 具	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
火 あ そ び	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
た き 火	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
溶 接 機 ・ 切 断 機	2	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
灯 火	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	4	-	-	-	1
衝 突 の 火 花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取 灰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
火 入 れ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放 火	2	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
放 火 の 疑 い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	7	3	1	3	-	-	-	4	2	-	1	1	125	-	6	-	-
不 明 ・ 調 査 中	6	4	-	2	-	-	-	4	2	-	-	2	185	1	-	-	1

6. 出火原因別火災発生概況(2)

(令和7年)

種 別 原 因 別	り 災 世 帯 数				り 災 人 員	損 害 額 (千円)							
	合 計	全 損	半 損	小 損		合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	爆発
合 計	11	3	-	8	22	69,220	68,003	-	834	-	-	383	-
た ば こ	1	-	-	1	5	942	891	-	-	-	-	51	-
こ ん ろ	1	-	-	1	2	5	5	-	-	-	-	-	-
か ま ど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風 呂 か ま ど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼 却 炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ス ト ー ブ	1	-	-	1	2	21	21	-	-	-	-	-	-
こ た つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボ イ ラ ー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙 突 ・ 煙 道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排 気 管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電 気 機 器	-	-	-	-	-	11,102	11,102	-	-	-	-	-	-
電 気 装 置	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	-	-	-	-	-	21,335	21,335	-	-	-	-	-	-
内 燃 機 関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配 線 器 具	1	-	-	1	1	91	91	-	-	-	-	-	-
火 あ そ び	1	-	-	1	4	386	386	-	-	-	-	-	-
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
た き 火	-	-	-	-	-	330	-	-	-	-	-	330	-
溶 接 機 ・ 切 断 機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
灯 火	1	1	-	-	1	18	18	-	-	-	-	-	-
衝 突 の 火 花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取 灰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
火 入 れ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放 火	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-
放 火 の 疑 い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	2	1	-	1	3	688	42	-	646	-	-	-	-
不 明 ・ 調 査 中	3	1	-	2	4	34,300	34,112	-	188	-	-	-	-

救 急 統 計



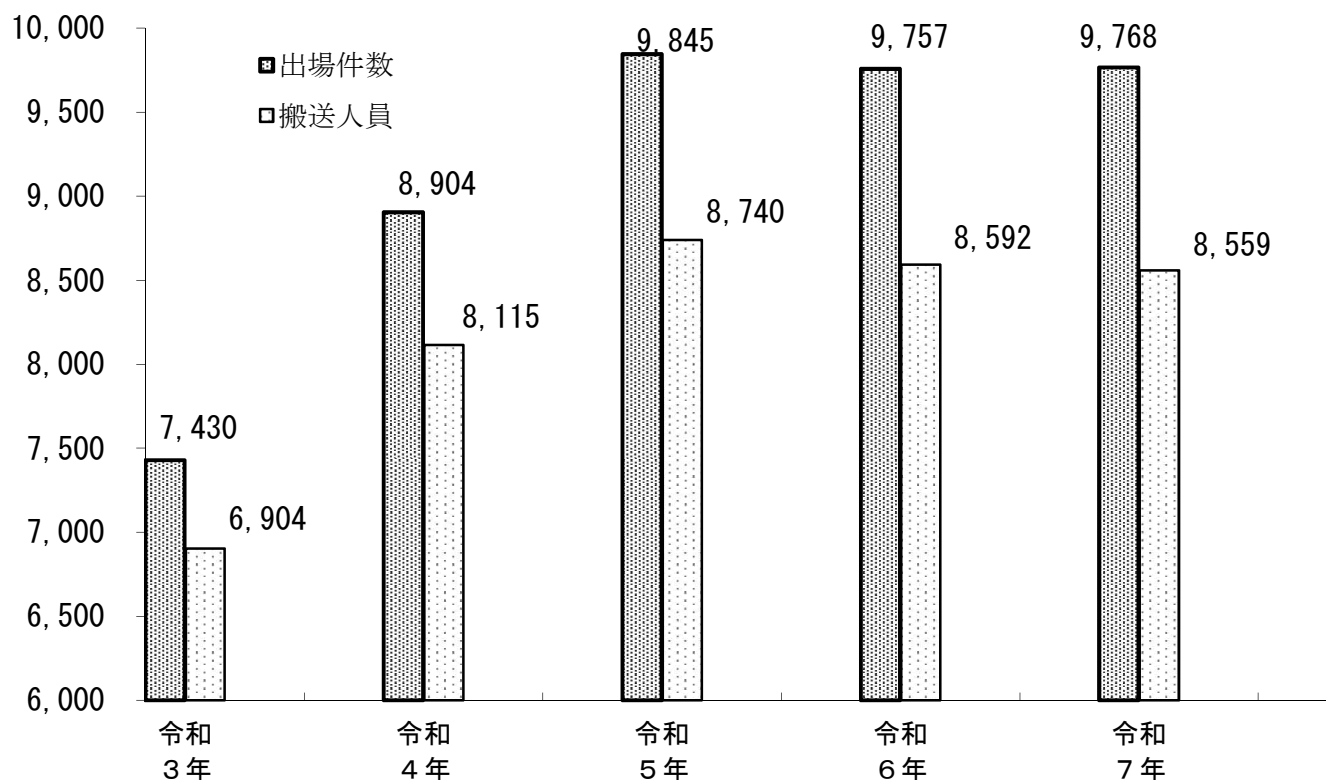
1. 救急業務の現況

令和7年の救急出動件数は、9,768件となっています。前年と比較すると出動件数は11件増加、搬送人員については33人減少しています。種別の内訳は、「急病」が最も多く6,446件（約65.9%）、「一般負傷」1,706件（約17.4%）、「転院搬送」828件（約8.4%）、「交通事故」461件（約4.7%）の順に出動があり、前年と比較し「一般負傷」、「労働災害」及び「転院搬送」による出動は増加していますが、それ以外の種別では減少となりました。

7月から9月にかけては記録的な猛暑だったにも関わらず、この期間の救急件数は前年比255件の減少でした。熱中症により救急需要の逼迫が予想されていましたが、熱中症に対する予防意識が広まった結果、救急件数の減少に繋がったと見込まれます。

消防本部では、令和7年10月よりマイナ救急実証事業に参加しており、令和8年4月から本格運用を開始しています。マイナ救急の導入により、「迅速・正確な情報把握」、「搬送先選定のスピードアップ」、「病院での治療準備の効率化」が期待されています。今後も救命率の向上を図るために、デジタル技術の活用による救急業務の高度化を推進するとともに、「予防救急」や「救急車適正利用」に関する啓発活動を継続し、市民の皆様の信頼とニーズに応えられる質の高い救急体制を構築すべく、組織の総力を挙げて取り組んでまいります。

過去5か年間の出場件数及び搬送人員



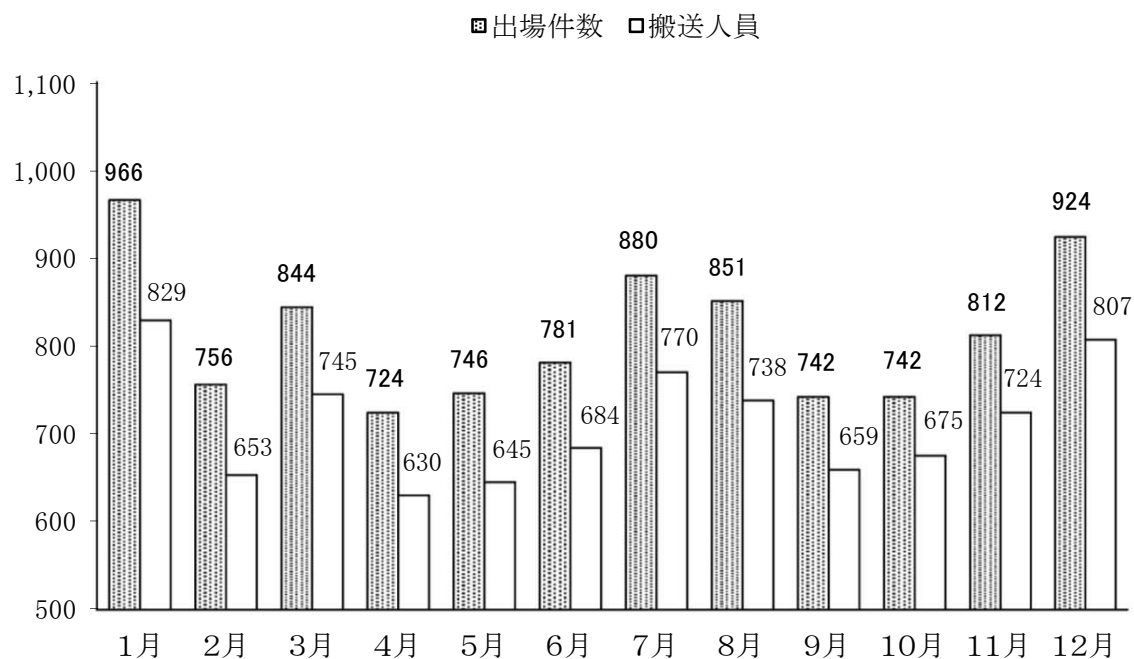
2. 救急概要

(令和7年)

事 故 別 区 分			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
													転 院 搬 送	医 師 等 搬 送	資 機 材 輸 送	そ の 他	
発 生 地 別	出 場 件 数	筑 紫 野 市	11			263	44	36	1,046	9	42	3,682	512			38	5,683
		太 宰 府 市	5			166	46	33	659	6	21	2,737	316			32	4,021
		管外・高速				32			1		2	27				2	64
		計	16			461	90	69	1,706	15	65	6,446	828			72	9,768
	救 急 活 動 人 員	筑 紫 野 市	3			248	41	33	895	8	27	3,210	510			2	4,977
		太 宰 府 市	1			152	44	32	557	3	15	2,406	316				3,526
		管外・高速				30					2	24					56
		計	4			430	85	65	1,452	11	44	5,640	826			2	8,559
署 所 別	出 場 件 数	筑 紫 野 署	11			204	36	29	645	5	29	2,437	435			21	3,852
		南 出 張 所				51	14	4	216	1	6	906	96			7	1,301
		太 宰 府 署	5			123	19	15	429	4	21	1,614	158			33	2,421
		東 出 張 所				83	21	21	416	5	9	1,489	139			11	2,194
		計	16			461	90	69	1,706	15	65	6,446	828			72	9,768
	救 急 活 動 人 員	筑 紫 野 署	3			194	35	26	557	5	19	2,150	434			1	3,424
		南 出 張 所				51	12	4	177		5	782	96				1,127
		太 宰 府 署	1			115	18	15	371	3	15	1,432	157			1	2,128
		東 出 張 所				70	20	20	347	3	5	1,276	139				1,880
		計	4			430	85	65	1,452	11	44	5,640	826			2	8,559

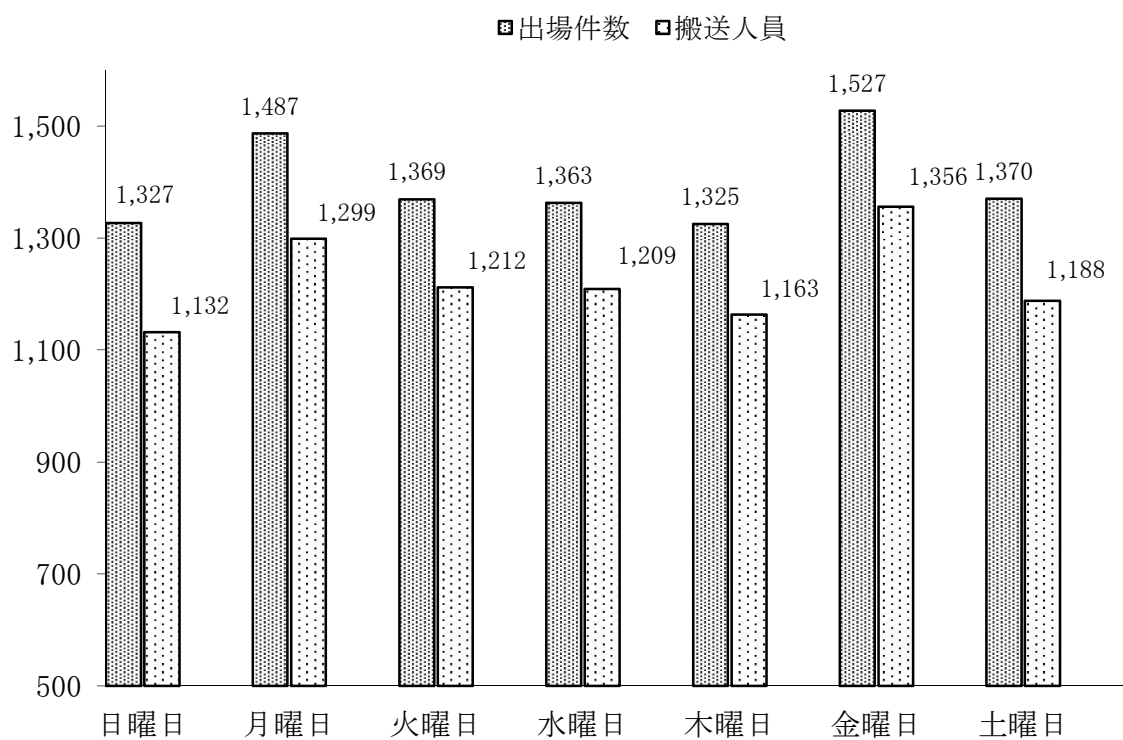
3. 月別救急活動状況

(令和7年)



4. 曜日別救急活動状況

(令和7年)



5. 時間別出動状況

(令和7年)

事故 種別 時間	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 等 搬 送	資 機 材 輸 送	そ の 他	
計	16			461	90	69	1,706	15	65	6,446	828			72	9,768
0～2	2			11			62	1	2	303	10			5	396
2～4	1			5			53		2	259	9			5	334
4～6				9	1		60		2	286	3			3	364
6～8				39			92		5	412	5			6	559
8～10	2			47	9	6	209		4	756	58			5	1,096
10～12	2			67	19	20	204		9	713	191			6	1,231
12～14				52	17	16	190	1	3	695	172			7	1,153
14～16	3			52	17	7	202		11	687	140			5	1,124
16～18	1			60	19	12	201		8	646	149			14	1,110
18～20	2			60	2	4	195	1	7	662	44			9	986
20～22	2			41	2	3	149	8	9	595	33			5	847
22～24	1			18	4	1	89	4	3	432	14			2	568

6. 時間別搬送人員状況

(令和7年)

事故 種別 時間	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
計	4			430	85	65	1,452	11	44	5,640	828	8,559
0～2				10			51		1	251	10	323
2～4	1			5			43		2	216	9	276
4～6				9	1		47		2	253	3	315
6～8				33			81		4	360	7	485
8～10	2			43	8	6	193		3	697	58	1,010
10～12				64	18	19	182		5	645	191	1,124
12～14				52	17	15	164	1		617	172	1,038
14～16				56	16	7	172		10	620	139	1,020
16～18				53	18	10	172		6	562	149	970
18～20				54	2	4	164	1	3	562	43	833
20～22	1			38	2	3	115	5	6	500	33	703
22～24				13	3	1	68	4	2	357	14	462

7. 事故種別医療機関別搬送人員状況

(令和7年)

事故種別			急病		交通		一般負傷		その他		計	
			う	ち	う	ち	う	ち	う	ち	う	ち
告示別	開設者別		管	外	管	外	管	外	管	外	管	外
救急医療機関	国立		50	50	5	5	5	5	22	22	82	82
	公立		20	20			3	3	8	8	31	31
	公的		2,353	93	191	12	681	14	402	41	3,627	160
	私的	病院	2,633	692	178	113	601	182	520	242	3,932	1,229
		診療所										
	計		5,056	855	374	130	1,290	204	952	313	7,672	1,502
その他の医療機関	国立		81	81	14	14	47	47	7	7	149	149
	公立		8						1		9	
	公的		6	6			1	1			7	7
	私的	病院	367	105	10	10	45	15	57	45	479	175
		診療所	122	15	32		69	6	20	2	243	23
	計		584	207	56	24	162	69	85	54	887	354
合計	国立		131	131	19	19	52	52	29	29	231	231
	公立		28	20			3	3	9	8	40	31
	公的		2,359	99	191	12	682	15	402	41	3,634	167
	私的	病院	3,000	797	188	123	646	197	577	287	4,411	1,404
		診療所	122	15	32		69	6	20	2	243	23
	計		5,640	1,062	430	154	1,452	273	1,037	367	8,559	1,856
その他の場所	接骨院等											
	その他											
	計											
合計			5,640	1,062	430	154	1,452	273	1,037	367	8,559	1,856

8. 救急隊員の行った応急処置

(令和7年)

区 分	合 計	急病	交通事故	一般負傷	その他
合計	37,258	24,772	1,959	6,068	4,459
止血	100	18	11	53	18
固定	262	15	143	77	27
人工呼吸	8	8			
胸骨圧迫	1		1		
心肺蘇生法	142	112	2	15	13
酸素吸入	1,419	1,097	21	68	233
気道確保	193	152	3	19	19
(うち気管挿管)	6	2		4	
保温	122	68	10	25	19
被覆	409	19	71	270	49
在宅療法	8	6			2
除細動	18	14			4
静脈路確保	120	92	4	12	12
薬剤投与	84	64	2	10	8
その他応急処置	7,102	4,691	365	1,186	860
血圧測定	8,168	5,350	418	1,398	1,002
心音・呼吸音等	4,037	2,907	232	480	418
血中酸素飽和度	8,428	5,548	428	1,432	1,020
心電図	6,631	4,609	248	1,019	755

9. 市民による心肺蘇生実施状況

(令和7年)

月 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月計	13	16	11	8	8	6	7	12	8	5	10	11	115

10. 講習種別受講者数内訳

(令和7年)

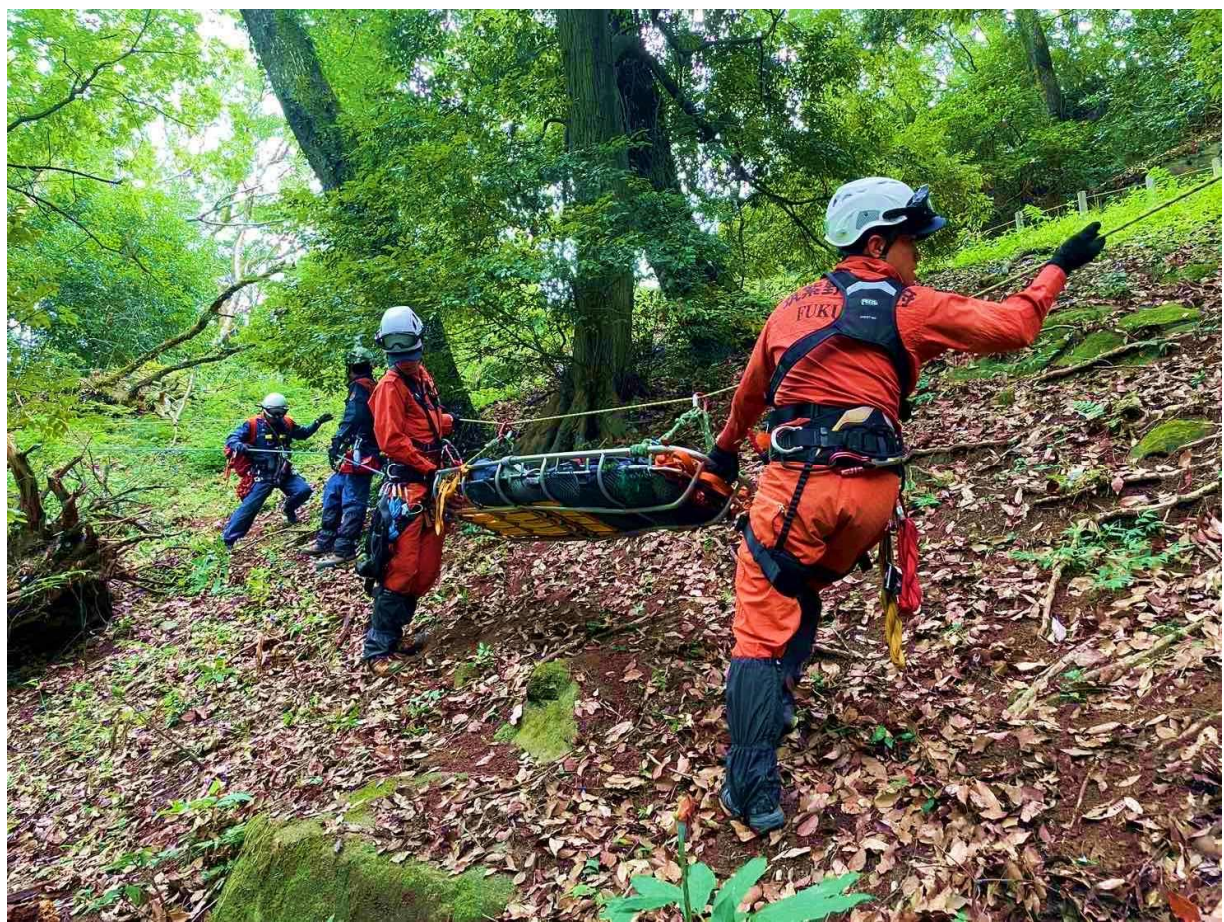
区分 年 講習種別	講習回数(回)			受講人員		
	令和6年	令和7年	比較	令和6年	令和7年	比較
普通救命講習Ⅰ	9	9	0	650	640	-10
普通救命講習Ⅱ	2	4	+2	19	17	-2
普通救命講習Ⅲ	0	1	+1	0	34	+34
上級救命講習	1	1	0	13	26	+13
普及員講習	3	3	0	2	9	+7
救命入門コース	49	52	+3	1487	1297	-190
合計	64	70	+6	2171	2023	-148

11. 受講団体対象別受講者数内訳

(令和7年)

区分 年 講習種別	令和6年			令和7年		
	学校	公共施設	一般	学校	公共施設	一般
筑紫野市	204	732	371	294	480	378
太宰府市	161	225	315	213	233	110
合計	365	957	686	507	713	488

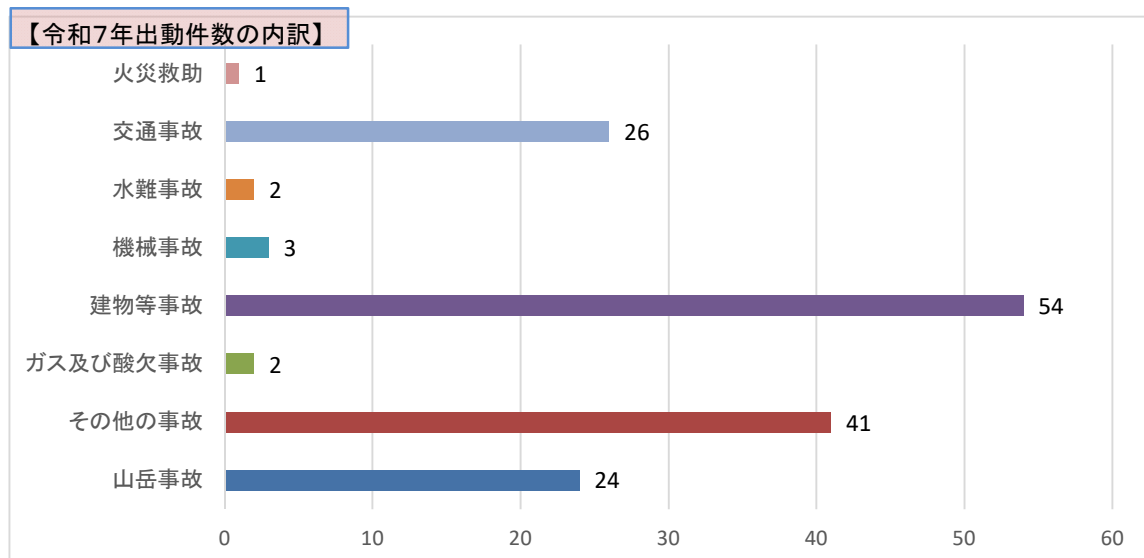
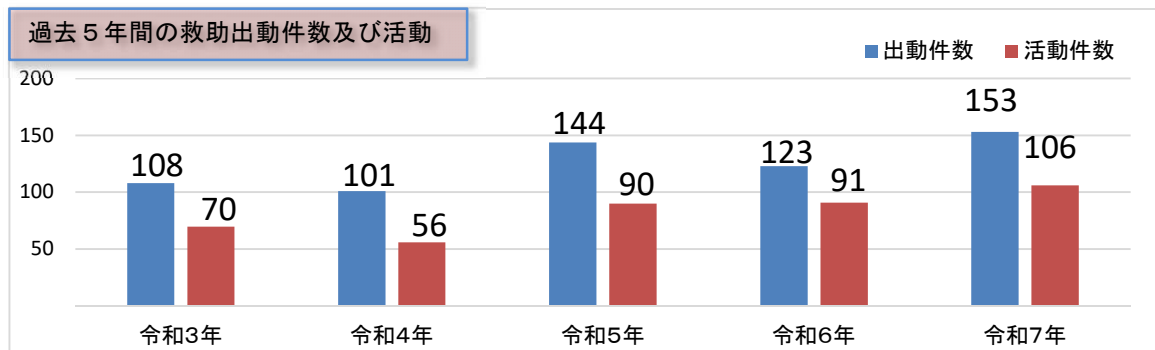
救 助 統 計



1. 救助業務の現況

令和7年中の救助出動件数は153件で、そのうち活動件数は106件、救助人員は107人で前年と比較すると、出動件数は30件増加し、救助出動件数は過去最高の件数となりました。出動件数の主な内訳は、建物等事故が54件(全体の約35%)、山岳事故が24件(全体の約16%)、交通事故が26件(全体の約17%)となっています。

当管内は、九州自動車道をはじめ主要幹線道路が多いため、交通事故による救助事案が多く発生しています。また、管内には年間10万人を超える登山者が訪れる宝満山があり、山岳救助件数は九州でもトップクラスになります。今後見込まれる人口増加による救助出動件数の増加と複雑多様化する救助事案に対応すべく、他本部との合同訓練をはじめ特別救助隊としてさらなる救助活動能力の向上に努めています。



令和7年他本部連携訓練及び研修

- 福岡市消防局救助隊及び消防航空隊
- 久留米広域消防本部
- 春日・大野城・那珂川消防組合消防本部
- 糸島市消防本部
- 福岡県消防長会県央地区会救助研修会



令和7年本管内各種訓練

- 水難救助訓練(河川、ダム、プール)
- 山岳救助訓練(天拝山、宝満山)
- 署内救助合同研修会



2. 事故種別救助活動状況

(令和7年)

事故種別 件数区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	事 機 械 等 に よ る	事 建 物 等 に よ る	事 ガ ス 及 び 酸 欠	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
出 動 件 数			1	26	2	-	3	54	2	-	65	153
活 動 件 数			1	14	2	-	3	40	2	-	44	106
救 助 人 員			1	16	2	-	3	40	2	-	43	107
搬送車両の内訳	救 急 自 動 車	-	1	13	1	-	2	27	1	-	25	70
	ヘ リ コ プ タ ー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5
	消 防 機 関 の そ の 他 の 車 両 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	消防機関以外の車両等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合 計	-	1	13	1	-	2	27	1	-	30	75

3. 事故種別・発生場所別出動状況

(令和7年)

事故種別 発生場所		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	事 機 械 等 に よ る	事 建 物 等 に よ る	事 ガ ス 及 び 酸 欠	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居	-	-	-	-	-	1	53	1	-	10	65
	そ の 他 の 屋 内	-	-	-	-	-	2	1	-	-	3	6
屋 外	道 路	高速自動車道		6	-	-	-	-	-	-	-	6
		その他の道路		17	-	-	-	-	1	-	3	22
	内 水 面	-	-	-	2	-	-	-	-	-	7	9
	外 水 面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	山 岳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	24
	そ の 他 の 屋 外	-	-	3	-	-	-	-	-	-	15	18
地 下		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
計		-	1	26	2	-	3	54	2	-	65	153

4. 事故種別・発生場所別救助活動状況

(令和7年)

事故種別 発生場所			火 災				交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	よ機 る 械 事 等 故 に		よ建 る 物 事 等 故 に		酸ガ 欠ス 事 及 故 び		爆 発 事 故		事 そ の 他 の 故		合 計				
			建 物	以建 外物						活 動 件 数	救 助 人 員	活 動 件 数	救 助 人 員	活 動 件 数	救 助 人 員	活 動 件 数	救 助 人 員	活 動 件 数	救 助 人 員	活 動 件 数	救 助 人 員	活 動 件 数	救 助 人 員	活 動 件 数
				活 動 件 数	救 助 人 員	活 動 件 数	救 助 人 員	活 動 件 数	救 助 人 員															
屋 内	住 居		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	40	40	1	1	-	-	1	-	43	42	
	そ の 他 の 屋 内		-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	1	1	3	3	
屋 外	道 路	高速自動車道	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	
		その他の道路	-	-	1	1	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	2	14	14
	内 水 面		-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	9	9	
	外 水 面		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	山 岳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	21	21	21	
	そ の 他 の 屋 外		-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12	14	14	
地 下			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
そ の 他			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計			-	-	1	1	14	16	2	2	-	-	3	3	40	40	2	2	-	-	44	43	106	107

5. 事故種別・出動人員・活動人員状況

(令和7年)

事故種別 区 分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	よ機 る械 事等 故に	よ建 る物 事等 故に	酸ガ 欠ス 事及 故び	爆 発 事 故	事そ の 他 故の	合 計
		建 物	以建 外物									
出 動 人 員	専 任 救 助 隊 員	-	4	88	5	-	10	122	7	-	193	429
	兼 任 救 助 隊 員	-	-	3	-	-	3	3	-	-	9	18
	消 防 隊 員	-	12	226	26	-	13	74	11	-	273	635
	救 急 隊 員	-	3	129	6	-	6	151	6	-	186	487
	消 防 団 員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	19	446	37	-	32	350	24	-	661	1,569
活 動 人 員	専 任 救 助 隊 員	-	-	45	5	-	6	82	7	-	127	272
	兼 任 救 助 隊 員	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	6
	消 防 隊 員	-	4	130	26	-	13	42	11	-	192	418
	救 急 隊 員	-	-	54	6	-	6	109	6	-	117	298
	消 防 団 員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	4	229	37	-	28	233	24	-	439	994

通 信 統 計



福岡都市圏消防共同指令センター
令和5年11月1日参入

1. 通信業務の現況

消防の通信は、有線通信と無線通信に大別され、有線通信は主に災害覚知から出動まで、無線通信は出動指令確認から現場終了（帰署）までに区分されて活用されています。

通信指令業務は、消防活動の中核的役割を果たすもので、災害通報の受付、災害が発生した場合の迅速かつ的確な現場活動を展開するための情報の収集・伝達体制を確立することが極めて重要であり、あらゆる災害に迅速な対応が求められています。

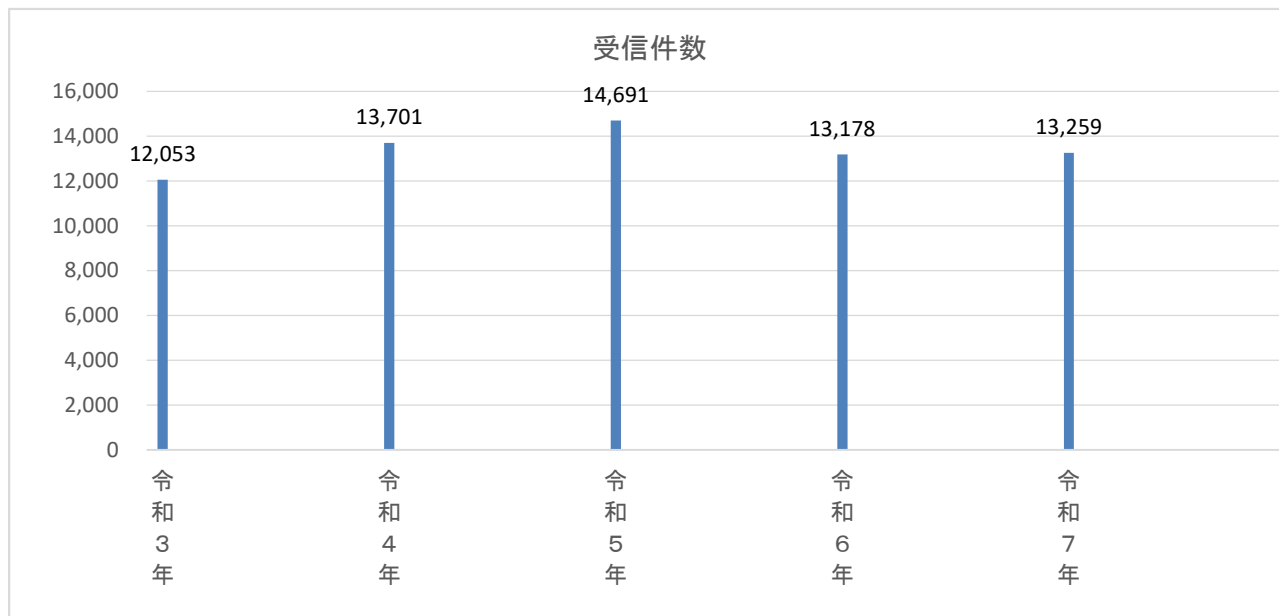
当消防本部では、令和5年11月に、福岡都市圏の5消防本部（福岡市消防局、春日・大野城・那珂川消防組合消防本部、粕屋南部消防組合消防本部、宗像地区消防本部及び粕屋北部消防本部）で運用している「福岡都市圏消防共同指令センター」に参入し、通信指令業務を福岡市に委託しました。

福岡都市圏消防共同指令センターは、火災、救急などの119番通報受付、消防隊・救急隊への出動指令、情報収集、現場支援、関係機関への連絡のほか、市民への情報提供などの一連の業務を行っています。各消防本部の指令センターを一本化することにより、大規模災害時における迅速な対応が可能となり、119番通報集中時の受信・処理能力などが向上しました。



2. 管内における１１９番通報受信件数の推移

	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
受信件数	12,053	13,701	14,691	13,178	13,259



3. 電話別の１１９番通報受信件数

区分	固定	IP	携帯	FAX	NET119	合計
災害受付	火災	1	6	60	－	67
	救急	793	2,452	6,310	－	9,556
	救助	2	6	117	－	125
	警戒	36	13	154	－	203
	自然災害	1	－	2	－	3
	その他の災害	1	－	1	－	2
非災害受付	問合せ	21	32	275	－	328
	通報訓練等	421	338	155	－	914
	間違い	88	37	292	－	417
	その他	259	62	1,323	－	1,644
合計	1,623	2,946	8,689	－	1	13,259

※『その他の災害』とは、他都市への応援、特別救急
 ※『問合せ』とは、災害、搬送先病院、休日当番医等の問合せ
 ※『通報訓練等』とは、通報訓練及び試験通報
 ※『その他』とは、相談、いたずら、応答なし等

筑紫野太宰府消防組合消防本部

〒818-0084

福岡県筑紫野市針摺西一丁目1番1号

TEL 092-924-5034

FAX 092-924-3397

URL <http://www.chikuta119.jp/>